

伊賀

市議会 だより

2010.11.15

No.23



元気に運動会 (さくら保育園・青山)

主な掲載内容

平成21年度決算認定

2~3

平成22年度補正予算

4

一般質問

5~9

常任委員会

10

9月定例会で決まったこと

11

議会報告会の様子と予定

12

平成22年12月議会日程

12

編集後記

12

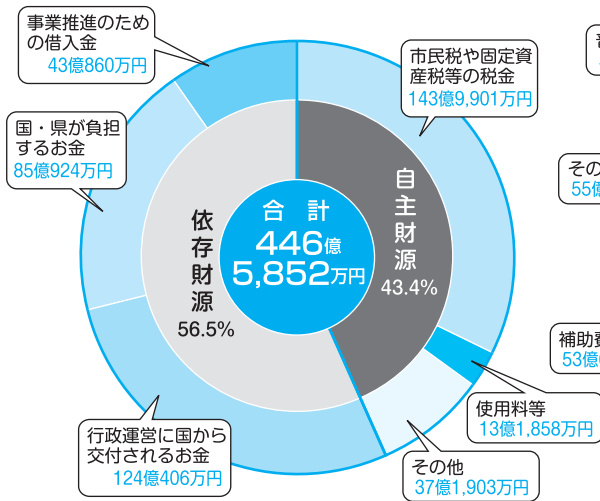
9月定例会

平成22年9月定例会は9月1日から24日まで開かれました。この議会では平成21年度一般会計及び特別会計などの決算17議案をはじめ、22年度の補正予算、条例の制定・改正など合計39議案が提出されました。

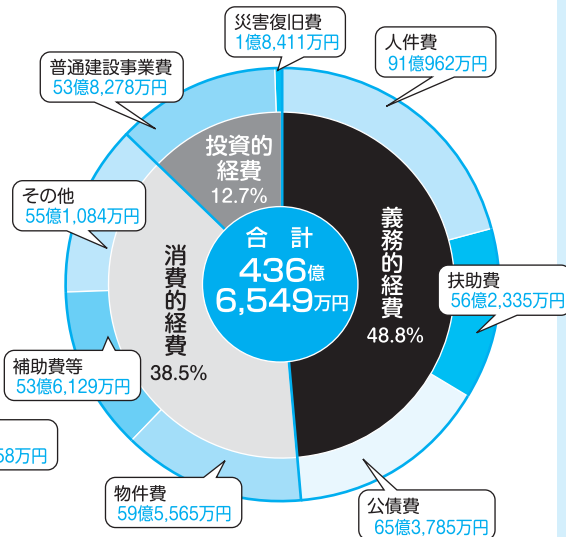
決算は議長、監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会に付託され、2日間にあわたって審議しました。

みちを審査・認定

一般会計歳入決算の内訳



一般会計歳出決算の内訳



■基金 (預金)

一般会計	残高	97億4,226万円
特別会計	残高	27億8,013万円
財産区	残高	1億1,537万円
合計	残高	126億3,776万円

■市債 (借金)

一般会計	残高	566億3,896万円	(うち交付税算入分 355億1,057万円)
特別会計	残高	219億5,237万円	(うち交付税算入分 108億3,959万円)
企業会計	残高	109億4,929万円	(うち交付税算入分 11億6,619万円)
合計	残高	895億4,061万円	(うち交付税算入分 475億1,635万円)

主な歳入 財源

() 内は対前年度比

市債 (市の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れる借金

43億860万円
(-11億5,430万円)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

99億1,146万円
(+7億8,828万円)

市税

市民税や固定資産税等の税金

143億9,901万円
(-13億9,647万円)

その他

事業に対する地元負担金や施設の使用料など

13億1,858万円
(-1,499万円)

繰入金

基金(市の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

8億886万円
(-1億5,998万円)

国・県支出金

国県が負担するお金

85億924万円
(+27億3,000万円)

平成21年度決算 市民の税金の使い

平成21年度一般会計

歳入（財源）	446億5,852万3,941円	翌年度繰越財源	1億5,465万2,000円
歳出（使いみち）	436億6,548万6,545円	実質収支	8億3,838万5,396円

主な歳出 使いみち

()内は対前年度比

民生費

- ・放課後児童クラブの管理運営費など
4,465万円
- ・発達支援事業
443万円
- ・子育て応援特別手当事業
4,634万円

114億8,787万円
(+1億5,953万円)

総務費

- ・庁舎建設事業など
1億8,856万円
- ・地区市民センター整備事業など
4億4,013万円
- ・定額給付金給付事業
15億6,808万円

82億1,903万円
(+10億1,359万円)

公債費

- ・市債元金償還金
55億9,135万円
- ・市債利子
9億4,650万円

65億3,785万円
(-1億9,076万円)

衛生費

- ・予防接種業務委託など感染症予防費
1億3,285万円
- ・さくらリサイクルセンター整備事業
9億4,525万円

48億6,729万円
(+7億6,046万円)

教育費

- ・(仮称)上野南地区中学校建設事業費
2億8,954万円
- ・桃青の丘幼稚園建設事業費
4億1,887万円
- ・体育施設維持管理委託料
2億1,142万円

41億1,235万円
(-7億5,819万円)

土木費

- ・道整備交付金事業
ゆめが丘摺見線、岡田大沢線など
3億3,758万円
- ・川上ダム周辺整備事業基金積立金
7億8,404万円
- ・街なみ環境整備事業
1億3,411万円

37億6,885万円
(+5億277万円)

消防費

- ・消防職員研修経費
救急救命士養成など
1,508万円
- ・消防施設整備事業
救急車購入
はしご車購入など
2億7,393万円

17億3,633万円
(+1億9,798万円)

農林業費

- ・鳥獣害防止事業費
1,937万円
- ・地域バイオマス利活用推進事業
菜種油搾油施設整備など
1億2,156万円
- ・森林環境創造事業
森林管理経費
3,511万円

16億2,974万円
(-9,585万円)

商工費

- ・工場誘致奨励金など
2億8,425万円
- ・産学官連携地域産業創造センター(ゆめテクノ伊賀)の管理運営補助金など
1億4,636万円

6億2,288万円
(+1億2,324万円)

議会費

- ・議会運営費
議会広報発行
会議録印刷製本など
1,959万円
- ・政務調査費
5,573千円

2億8,471万円
(-4,976万円)

労働費

- ・シルバー人材センター運営等経費
1,460万円
- ・緊急雇用創出事業
7,552万円

2億1,448万円
(+6,271万円)

災害復旧費

- ・台風18号による災害について農地及び農業用施設の復旧工事費
9,870万円
- ・道路・河川災害復旧工事費
7,170万円

1億8,411万円
(+1億5,190万円)

議論白熱!!!
庁舎建設基金
しらすぎ運動公園
など

平成22年度 補正予算

一般会計 賛成多数で可決 賛成 23 反対 4

- 使いみち
- 庁舎建設基金：15億円 ● 5地区へのコミュニティ助成：830万円
 - 放課後児童クラブ「オーロラ」運営補助金：561万円
 - 森林環境創造事業委託料：1,620万 ● しらすぎ運動公園整備事業：5,180万円
 - 新居小学校、神戸小学校、大山田中学校の耐震補強：5,900万円 など



討 論

賛 成

・賛成はするが、医療問題や庁舎建設問題について市民に十分な説明・理解がされるまで、一部予算執行の凍結を。(安本)

反 対

・市民は庁舎建設より医療問題を最優先としている。しらすぎ運動公園については市民のコンセンサスを得ていない。(森永)
・用地取得費の根拠が不明なしらすぎ運動公園整備に反対。(稲森)

反対 森永、前田、百上、稲森

庁舎建設基金積立を
一時凍結する附帯決議
(予算執行に当たっての条件を提案)

可決

賛成 17 反対 10

庁舎建設基金積立金 15億円

現在、市が直面している諸課題については、市民の多くは、医療問題を最優先し、緊急な政治的判断及び財政的措置を求めている。

そうしたことから、庁舎建設積立金については、特化した積立金であり、医療問題を考えたとき、民意が反映できる積立金であるべきと考える。

したがって庁舎建設については、特に仮設庁舎に係る費用等について市民に説明を行ない、一定の理解を得ることが最も重要であり、その説明責任を果たすまでの間、基金積立金15億円の予算執行を凍結することを求める決議を行う。

討 論

賛 成

・市民が一番心配しているのは、救急医療と医師不足の問題であり、市民の声に答えていない。費用対効果を十分検討し、基本設計が議会で承認されてから積立てるべき。(中谷)

反 対

・庁舎建設は期限のある合併特例債を使って1日も早く建ててほしい。建設資金を今から計画的に積立てるべき。(森岡)

反対 森岡、岩田、松村、空森、北出、田山、西澤、中井、上田、生中

しらすぎ運動公園整備事業を
一時凍結する附帯決議
(予算執行に当たっての条件を提案)

否決

賛成 9 反対 18

用地取得費など 5,180万円

しらすぎ運動公園(防災機能を含む)については、市民生活に直結した事業であることから、行政は市民への説明責任を果たすべく、各地区へ出向き、事業内容について十分説明し理解を得るべきである。よって、市民のコンセンサスが得られるまで、予算執行を一時凍結する決議を行う。

反対 森岡、馬場、中岡、桃井、坂井、岩田、奥、松村、空森、北出、森、本城、田山、西澤、中盛、中井、上田、生中

補正予算表

(単位：千円)

会 計 名	補正額	補正後の額
一 般 会 計	2,035,711	42,716,399
国民健康保険会計	263,198	9,658,778
老人保健会計	2,004	8,879
介護保険会計	107,706	7,638,603
農業集落排水会計	90,895	2,106,363
公共下水道会計	141,203	1,149,896
島ヶ原財産区会計	586	29,846
合 計	2,641,303	63,308,764

※一般会計を除いて 全員賛成で可決

ここが聞きたい



一般質問

市政を問う

9月7日から10日まで、14人の議員が市の諸問題について質問をしました。

一般質問

渡久山力ナエ 議員

質問項目

- ・ゴミ処理について
- ・発達障がいへの支援体制
- ・認定こども園の考え方

問 デイジー教科書の導入

パソコンなどを利用して、教科書の文章を音声で再生しながらその文章を色で強調することによって、読み飛ばしたり、どこを読んでいるのかわからなくなるなど、読むことに困難を覚えている



児童・生徒に、教科書の内容の理解を促す効果がありますが、学校現場での導入はお考えでしょうか。

答 有効性を検証したい

調査研究の段階ではありますが、今後ものすごく有効になるかもしれません。障がいのある子にはどんな手法が合うかわかりませんが、学校への紹介をしながら、伊賀市として有効性を検証していきます。



一般質問

本城 善昭 議員

質問項目

- ・医療問題について
- ・地産地消の推進について
- ・JR 関西本線の電化について
- ・道路整備について
- ・下水道の整備について

問 医療体制の再生にむけて



私たち市民にとって生命体の安心・安全の確保は一番大事です。市としても市民の命を守ることは最重要課題です。何をさておいても早急な医療の再生に邁進すべきです。

救急医療の再構築ということで、上野総合市民病院と名張市立病院との経営統合、機能分担、新病院の建設という、両市の三項目の確認書が取り交わされ、6か月近くが経過しました。その後の進捗状況は。また、新たな展開として、民間医療法人との連携協力関係の構築や、最新医療機器であるPETCTを活用した新たな方向・診療体制等を模索すべきではないのですか。

答 当面は医師確保と救急輪番制の確保に取り組みます

現在、県と三重大を中心に進めている医療再生整備の枠組みの中で、当面は医師確保と救急輪番制の確保に取り組みます。

一般質問

前田 孝也 議員

質問項目

- ・伊賀市建設問題
- ・市自治組織のあり方(案)について

問 庁舎建設の住民説明を



伊賀市庁舎建設は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計の4段階で事業が推進されています。住民説明について、市広報、市ホームページへの情報公開を行い、実施段階へ入る前に再度住民説明を実施して市民の理解を得る必要があります。最後の2段階の進め方をお尋ねいたします。

答 機会を設けて市民の理解を得たい

いよいよ本年度から庁舎の基本設計に入ります。様々な庁舎のコンセプトがあり、それらを基本設計の中に盛り込ませ、基本設計の原案ができましたら、いろんなメディアを通じて市民に広く知っていただくようにしたいと思います。また、市民の代表者のご意見を伺う機会を設けて、ユニバーサルデザインについて意見をいただくなど、市民理解に向けた取り組みを進めていきます。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- ・子どもの医療費を小学校卒業まで無料に
- ・市の責任で高齢者の生活支援を
- ・伊賀南部クリンセンターについて

問 高齢者の安否確認は行政の責任で



100歳以上の高齢者の行方不明が社会問題になる中、老人福祉法では自治体は「老人の福祉に関し必要な情報の把握に努める」と実態把握の責務を明記しています。

週一回の電話訪問や乳酸飲料の配布、家庭ごみの戸別収集などを通して安否確認をしている自治体もあります。地域や民生委員の高齢化など地域での見守りにも限界があり、安否確認や見守りは市の責任で行うべきと考えますが、いかがですか。

答 見守りネットワークの整備を進めます

現在65歳以上の高齢者を対象に配食サービスを行い、同時に安否確認をしております。希望者が増えているので、応えられるようにしたいと思います。地域での見守りネットワークの整備についても、今後策定する第二次地域福祉計画や第五期介護保険事業計画に反映させたいと考えています。

一般質問

安本美栄子 議員

質問項目

- ・補助金交付のあり方について
- ・人材育成とその活用について
- ・住民による自治について

問 補助金の見直しは



行財政改革は、まず補助金の見直しから始めるべきです。全国的に遅々として進まないのは、既存の補助金団体の既得権が尊重されている現状があるからです。

一定の基準を設けること、期限を設定し、ゼロペー入から申請、契約を行うこと、また第三者機関による「補助金検討委員会」を設置しその事業の評価と公表等、取り組んではいかがですか。

答 一定の基準を立案中です

合併後、行革大綱実施計画の中、総額35%の削減、寄付金の見直しを行ってきましたが、新しい補助金体制の見直しや定期的に検証する必要がある、一定の基準を設けて取り組むべき立案中で12月には示せると思います。

一般質問

松村 頼清 議員

質問項目

- ・学校教育の環境現場について
- ・消防職員の適性配置について
- ・伊賀市における産学官連携の実情

問 どうする学校教育の格差

合併前も含め小中学校の校区再編計画に伴いながら、建て替えも含め学校建設が進められてきました。現状、新築された学校と古い学校との教育環境設備に差があります。



多少の凹凸があつても仕方がないと思いますが、子どもたちが学校で過ごす中で設備の差が激しすぎます。お答え願います。

答 今後考えていきたい

現状では格差があります。安全安心を考える上で耐震はもちろんながら、大規模改造までは考えていないが、施設設備面については、子供たちが快適に過ごせるように、やらなければならぬところは必要に応じてやしていきたい、特にトイレなど水回りの部分についての改修は今後考えていきたいと考えています。

一般質問

空森 栄幸 議員

質問項目

- ・医療問題について

問 市民病院をどう立て直していくのか



市民病院を立て直していくにあたり、勤務医確保の現状はいかがですか？

答 引き続き医師の確保に取り組みます

三重大学の医局にもお願いしながら、医師紹介コンサルタントにも引き続きお願いしていきます。近畿・東海地方の大学にもお願いしていきますが、非常に厳しい状況にあります。上野総合市民病院の応援医師の中にも、勤務医になつてもよいという医師がいらつしやるので、引き続きお願いしていきます。何をおいても結果が一番大事ですので努力していきたいと思ひます。



一般質問

森永 勝二 議員

質問項目

- ・生活実態にそつた滞納整理を

問 生活にあつた滞納整理を



市民から「今まで分割で納入していたのに、制度が変わり全額納付を。払えないと差し押さえると言われた。」と相談がありました。どんな基準で滞納整理をしているのですか。基準を変えた理由といつから実施しているのですか。

答 分割は給与差し押さえ可能額を基本に

現在実施している滞納整理の指針は、基本方針として納期限の過ぎたものは一括納付を基本とし、納付日までの延滞金も含めて徴収します。また、納期未到来のものは、納期内納付を徹底指導します。分割の申し出があつた場合は、給与差し押さえ可能額を基本とします。分割成約後も財産調査を行い、差し押さえできる財産があれば、直ちに差し押さえを執行します。

一般質問

森 正敏 議員

質問項目

- ・高齢者福祉について
- ・消防、防災について
- ・地域経済について
- ・環境問題について

問 高齢者の交通手段の確保を

お年寄りが住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすには、交通手段の確保が重要な課題です。病院へ行ったり、買い物に出たり、友人との交流をするにしても、車の運転ができない高齢者は公共交通機関に頼らざるを得ません。



市は交通計画の見直し中ですが、市民病院行きバスをゆめが丘まで延ばすなど少しの工夫で利用が便利になりますが、いかがですか。

答 交通計画の見直しをしています

現在、交通計画の見直し作業中です。しらかぎ号のルートや、行政バスの運行時間や乗り継ぎを問うアンケートを貰っていますが、この解決なくしては新しい交通計画にはならないと思っております。

すべての要望に応えることはできませんが、少しでも便利になり外出の機会が均等になるように努力します。

一般質問

生中 正嗣 議員

質問項目

- ・教育問題について

問 教育環境格差の是正措置は



猛暑が続く中、空調設備の有無による学校間の不公平をどう是正されますか。

答 保健室については計画的に設置

空調器の設置率は全国では10・2%ですが、当市では36・1%です。学校の立地場所による温度差もあり、整える努力はしていますが、財政的に大変厳しい状況です。

普通教室については校区再編による新築や、大規模改修による国の補助等があれば設置をしていき、特に保健室については計画的に設置をしていきます。

一般質問

中本 徳子 議員

質問項目

- ・川上ダム建設と道路整備について
- ・農林業施策
- ・医療問題について
- ・交通計画施策について

問 市民病院の再生とPET・CT健診の推進

早期に身体の異常を発見し、早期治療のために市では、平成19年に県下5番目となるPET・CT2台の導入を含め、総額11億2千万円を投じて健診体制を整えました。素晴らしい設備ですが、利用者数が伸び悩んでおり、市はPRを強化すべきです。



また、常勤の内科医は確保できませんでしたか。

答 医師会へPET・CTの利用を

PET・CT健診の活用から特色ある内科、外科分野に力を入れるとともに、伊賀、名賀医師会へ層のお力添えをいただくよう努力します。さらに市民の皆様方へも啓蒙に努めます。

救急輪番制に穴を空けることのないよう、医師確保に全力を挙げて取り組んでいます。

一般質問

馬場登代光 議員

質問項目

- ・上野総合市民病院等の対応について

問 どのような取り組みをされていますか



上野総合市民病院は医師不足が原因で5階から6階も空床、また常勤内科医師が一人になってますます医療体制に不安がつのつてきました。まず市民病院の充実を図ることが第一です。常勤医師不足対応にどんな取り組みをされ、いつ頃成果がみられますか。

答 常勤医師確保に努めます

救急輪番制については今年の見直しはついていません。今後はPET・CT関連を中心とした魅力ある病院にすることも考慮して、常勤医師の獲得に努めたいと思います。

公益社団法人地域医療振興協会に行つたことはありません。社団法人全国自治体病院協議会に医師の求人早速お願いします。

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- ・上野総合市民病院の現状と課題について
- ・地元事業者支援と雇用対策について
- ・校舎跡地利用についての考え方は
- ・都市計画道路について

問 医師受入れのための環境づくりは



上野総合市民病院では、常勤医師の確保は急ぐべき課題ですが、医師を受け入れるための環境づくり、医師を支える取り組みについても、大切なことだと考えますがいかがですか。

答 来年度から電子カルテの導入を計画しています

8月からは、常勤医師11名の他、外来診療等非常勤医師で病院を支えていただいております。医師、看護師の待遇改善策と医師確保に向けた取り組みは重要課題だと考えています。

また、外来、入院患者の対応、救急対応などで医師の過重労働を少しでも緩和させる措置として、来年度から各診療科の連携のために電子カルテの導入を計画しています。また入力補助のための事務も配置していきたいと考えています。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- ・地震発生時における行政の対応
- ・教育施設における格差
- ・伊賀市における土地開発公社の功罪
- ・伊賀市の借金について

問 伊賀市の借金の総額は



20年度末現在、一般会計579億円、特別会計、企業会計総合計916億円。21年度末現在一般会計566億円、総合計895億円で、21億円減少しました。

問 地方交付税措置とは何ですか

地方自治体が起債した借金について、借入元金及び支払利息に対して、国が後日、地方交付税として地方自治体に交付するものです

問 借金のうち、いへらの金額が交付税措置されていますか

一般会計においては、566億円に対して355億円で、自治体の実質負担額は211億円です。

常任委員会

各常任委員会では、第5回定例会で付託された議案10件、請願4件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

総務

議案 3件

伊賀市庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

伊賀市新庁舎建設のための安定した財源を確保し、円滑に行うことを目的として、条例を制定するもので、基金の設置、積立て、管理処分等について規定しています。

Q 基金を設置する時は、他の基金条例においても管理や運用益金の処理、組替運用は規定しているのか。

A 他の基金条例においても規定している。

全員賛成で可決しました。

産業建設

議案 6件

工事請負契約の締結について

上野市駅前地区の市街地再開発事業に伴う再開発ビルを建築するための工事請負契約を締結するものです。

建築主体工事、機械設備工事及び電気設備工事を一括し、9月2日一般競争入札を行なった結果、フジタ・中里特定建設工事共同企業体が28億1400万円で落札したので、工事請負契約の締結について議会の議決を求められたものです。

教育民生

議案 1件

伊賀市職員の給与に関する条例等の一部改正について

上野総合市民病院において、地域医療体制を維持するため、給与待遇面で見直しを行うことに伴い、職員の給与と手当関係の3条例について改正を行うものです。

内容は、常勤医師の地域手当の支給率を国の基準に引き上げることや看護師に支給する夜間看護手当の増額などの改正を行うとともに、医師の待機手当を新設します。

また医師に支給している医師確保手当に新たに経験年数に応じた定額の医師確保手当を支給します。

職務手当は院長、副院長の区分を設け支給す

Q 電気設備など地元企業をできるだけ参画できるように配慮されたい。

A 個々の企業努力が必要であるが、市の発注する事業であり、強要できないが、契約後は落札者に働きかけていく。

全員賛成で可決しました。

伊賀市都市マスタープランの策定について

都市マスタープランは、「市の都市計画に関する基本的な方針」であり、市が今後さらに体とな

るとともに、中堅層の看護師に新たに職務手当を支給し、看護師確保に役立てます。

Q 名張市も同様の条例改正案を出すとのことだが、両市の改正案を比較した場合はどうか。

A 独身医師の年収額を免許取得後5年、10年、15年、20年でそれぞれ比較すると、伊賀市のほうが40万円から80万円くらい高くなっている。

Q この改正で、現在いる医師に残っていただけなのか。また新たに医師が来てくれるのか。

A 医師の給与は県下でもトップクラスであり、新たな医師も確保しやすいものとなっていると思う。

討論において「地域医療体制マスタープラン」をもとに、将来を見据えた環境づくりをするべきとの意見がありました。

全員賛成で可決しました。

つたまちづくりを行うことを目的に、都市計画の総合的な指針としての役割を果たす計画です。

策定については、地域の意向把握を行い、策定委員会で審議を重ね、取りまとめた案についてパブリックコメントを実施。市民の皆様から頂いた意見を反映させ、プランがまとまったので、議決を求めるものです。

Q 今後線引きはどのようにしていくのか。

A 4つの都市計画地域を統合し、地域拠点については開発可能な条例を整備していく。

全員賛成で可決しました。

請願

●**教育民生常任委員会**で教育関係の3つの請願を審査し、いずれも採択しました。

◎**請願者**

伊賀市PTA連合会
会長 福岡正康 他2名

◎**紹介議員**

奥 邦雄 空森栄幸
岩田佐俊 坂井 悟
中岡久徳

採 択
義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求めることについて

◎**採択に**

賛成 23人
反対 4人

〈前田、渡久山、中谷、近森〉

【**反対討論**】制度の全額を国負担とするものであるため、三位一体改革及び地方分権に逆行するものである。

(渡久山)

採 択
30人学級を柱にした新たな「教職員定数改善計画」策定と教育予算拡充を求めることについて

◎**採択に**

全員賛成

採 択
保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて

◎**採択に**

全員賛成

意見見書

以上の請願を採択したので、伊賀市議会として意見書を国に提出しました。

●**総務常任委員会**で審査し不採択となりました。

不採 択

市庁舎建設など不急の大規模事業の実施を一時凍結し、医療問題の早急な解決を求めることについて

◎**請願者**

伊賀上野まちづくり市民会議
議長 滝井利彰

◎**紹介議員**

坂井 悟 中本徳子
中岡久徳

◎**趣 旨**

市民の大切な命を守るために市庁舎建設などの大規模事業を一時凍結し、予算を深刻な事態に陥っている医療問題に向け、人知の限りを尽くし解決することを求める。

◎**本会議で委員会決議（不採択）に対し**

賛成 14人
反対 12人

〈森永、馬場、中岡、安本、桃井、坂井、中本、奥、本城、百上、中盛、稻森〉

〈前田〉

【**反対討論**】医療問題は最重要課題であり、一刻も早い解決を市民は願っているため、この請願に賛成、不採択に反対。

(安本、稻森、百上、中盛)

9月定例会で決まったこと

平成21年度決算の認定について

◆伊賀市簡易水道事業特別会計ほか11議案
.....**全員賛成で可決**

◆平成21年度伊賀市一般会計決算の認定について
賛成...25人 反対...2人(森永、百上) ...**賛成多数で可決**

討論 **反対**
・川上ダムに頼らない治水利水対策を。庁舎建設より医療問題解決を市民は願っている。同和事業は終了すべき。低所得者が多く税滞納者が増えている。差し押さえありきの滞納整理はやめるべき。(森永)

◆平成21年度国民健康保険事業特別会計決算の認定
賛成...25人 反対...2人(森永、百上) ...**賛成多数で可決**

討論 **反対**
・高い国保税、一般会計予算を充当してでも国保税下げるべき。(森永)

◆平成21年度老人保健特別会計決算の認定
賛成...26人 反対...1人(中岡) ...**賛成多数で可決**

◆平成21年度介護保険事業特別会計決算の認定
賛成...25人 反対...2人(森永、百上) ...**賛成多数で可決**

討論 **反対**
・介護保険認定制度の改正でサービスが低下している。(森永)

◆平成21年度後期高齢者医療特別会計決算の認定
賛成...25人 反対...2人(森永、百上) ...**賛成多数で可決**

討論 **反対**
・75歳以上の高齢者を別枠にしている。ただちに制度を廃止すべき。(森永)

平成22年度一般会計補正予算について

(P4をご覧ください。)

その他の議案 (P10をご覧ください。)

◆伊賀市シルバーワークプラザ条例の制定についてほか8議案
.....**全員賛成で可決**

◆伊賀市庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
賛成...25人 反対...2人 ...**賛成多数で可決**

議会報告会



10月中に18地区で議会報告会を行いました。
 議会や市政に対して、また地域の現状の課題などさまざまなお声を聞かせていただきましたが、特に医療問題、自治会・自治協のあり方、庁舎建設問題、校区再編等についてご意見、ご質問をいただきました。
 1月は下記の日程で予定しておりますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。



議会報告会日程 (1月分)

班	議員名	地区名	開催日	時間	場所
1	奥、生中、中盛、北出、中岡	きじが台	1月23日(日)	10:00	きじが台地区市民センター
2	空森、稲森、西澤、中本、馬場	長田	1月19日(水)	19:00	長田地区市民センター
		島ヶ原	1月予定	19:00	島ヶ原会館
3	岩田、上田、百上、渡久山、森岡	河合	1月7日(金)	15:00	阿山保健福祉センター
		花垣	1月13日(木)	19:00	花垣地区市民センター
4	森永、近森、田山、前田、坂井	三田	1月21日(金)	18:00	三田地区市民センター
5	中谷、森、今井、安本	博要	1月22日(土)	19:30	博要地区市民センター
6	未定	桐ヶ丘	1月15日(土)	14:00	桐ヶ丘多目的集会所アミティ

※都合により、出席議員の変更がありますが、ご了承下さい。

編集後記

第5回定例会の一般会計補正予算の審議で、庁舎建設基金積立を一時凍結する附帯決議が出され、可決されました。現在の医療問題を考えるとき、市民の安心・安全を第一に据えた結果であります。

今議会は数多くの議案が上程されました。議会だよりの編集については、わかりやすい、親しまれる紙面にと、委員が力を合わせてきましたが、まだまだとの思いもあります。ご意見をいただければと思います。

(奥)

平成22年12月定例会日程 (予定)

12月

- 1日(水) 本会議 (開 会)
- 7日(火) 本会議 (一般質問)
- 8日(水) 本会議 (一般質問)
- 9日(木) 本会議 (一般質問)
- 10日(金) 本会議 (一般質問)
- 13日(月) 予算特別委員会
- 14日(火) 各常任委員会
- 15日(水) 各常任委員会
- 16日(木) 各常任委員会
- 24日(金) 本会議 (閉 会)

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置を設置しております。

本会議等の模様は午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

FAX 0595-24-7901

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp